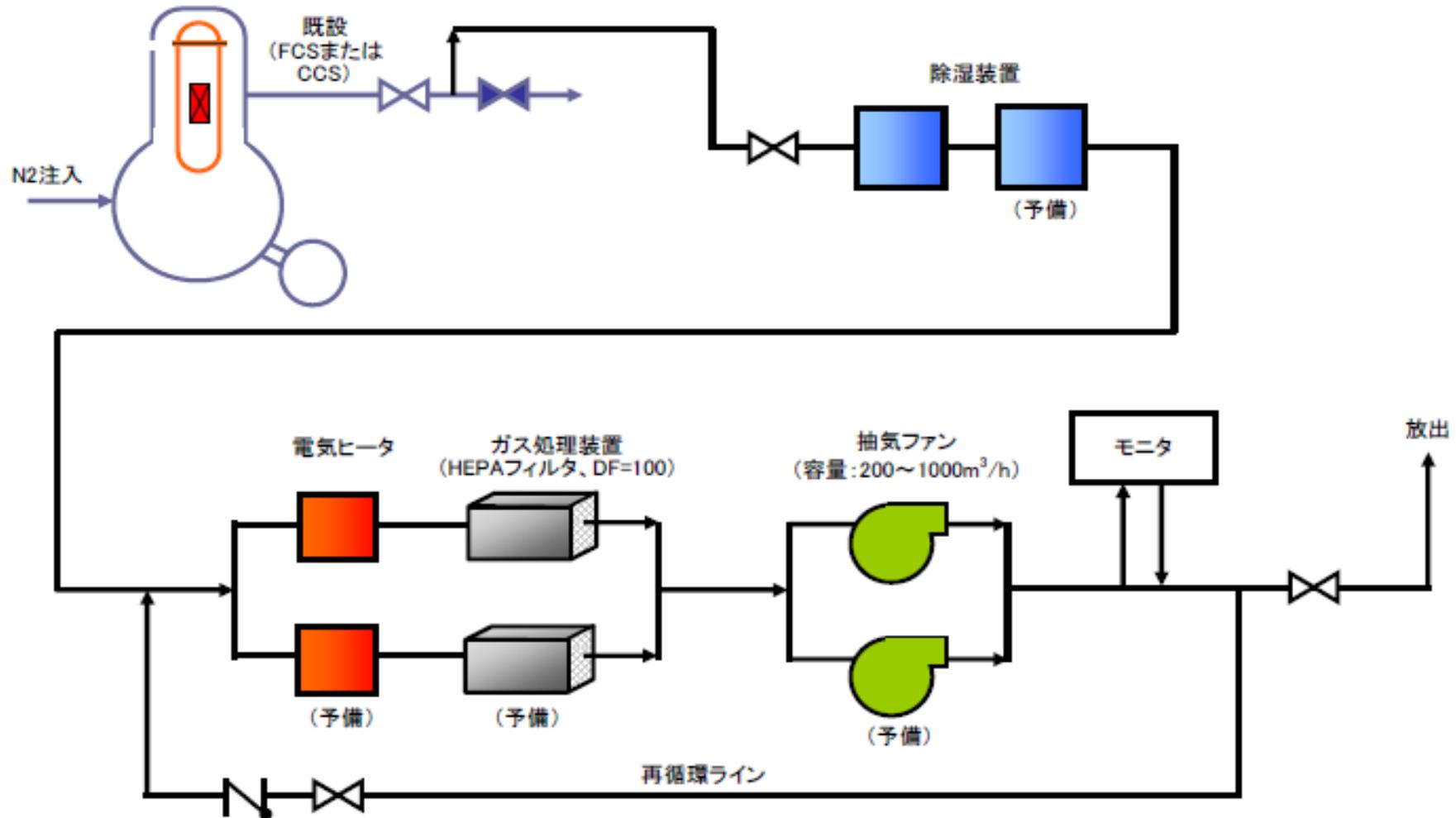


PCVガス管理システムの運用について

平成24年2月27日
東京電力株式会社

1. PCVガス管理システムの概要

設置目的：格納容器気層部から**管理した経路**により放出し、**放射線量の抑制**及び**作業改善**のため設置



概 略 系 統 図

2. PCVガス管理システムの機能

•放出放射線量の抑制

抽出ガスから放射性粒子を除去し、年間被ばく線量を低減。

また、放出量を監視するため、ダスト放射線モニタを設置。

現状、1, 2機とも、フィルタ出口ダスト濃度は $10^{-4} \sim 10^{-5}$ Bq/ccのオーダーで推移。

(制限値 10^{-1} Bq/ccのオーダー)

更に、本システムにより**原子炉格納容器より直接ガスを抽気できる**ことから、プラント状況を把握できる情報として、下記の監視設備を設置。

•水素濃度の監視

原子炉格納容器内の水素濃度を監視。

現状、1, 2機とも、0.1%以下で推移。(水素の可燃限界値4%)

•原子炉未臨界の監視

希ガスモニタによりXe135等の濃度を監視。

これにより、原子炉未臨界判定が可能。

3. PCVガス管理システム設置時期

1号機:H23年12月8日

2号機:H23年10月28日(希ガスモニタについては、H24年2月19日より運用開始)

3号機:H24年2月23日(監視設備については1系統のみ設置。2系統化は3月3日の予定)

4. PCVガス管理システム設置工事状況

設備設置にあたって、既設クレーンの復旧、設置エリアの資機材を撤去等の付帯作業が発生。これにより、号機により供用開始時期が異なる。



また、3号機については既設との取り合い箇所の雰囲気線量等が非常に高く、設置方法について、工法の見直しを実施。

